

# 台車式電動引戸

## 取付説明書 – ジャンボスライドST型 –

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等への危害や損害を未然に防止するためのものです。  
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

### 安全に関する記号 記号の意味


**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。


**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

### 一般情報に関する記号


**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。


**補足**

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

## <施工の前に>


**警告**

- 門扉は人や車が入り出するためのものです。構造によって開閉する方法が異なりますので、設置の場所・目的に合わせて選択してください。


**注意**

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

## <施工上のご注意>


**注意**

- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- アルミ製品が垂鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。
- 扉走行床面は水平に仕上げてください。

## <施工上のご注意>

### ⚠ 注意

- 基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めています。現場によって（堅牢な地盤、軟弱な地盤など）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分配慮してください。
- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。

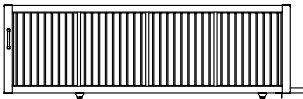
## <電気配線工事について>

### ⚠ 注意

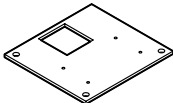
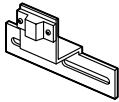
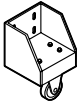
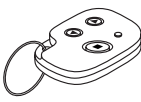
- AC100Vの電線の埋設工事、配線作業に関しては、電気工事店の有資格者に依頼してください。
- AC100V用の照明器具は、第3種接地工事を行なってください。

## ■梱包明細表

### 【1】本体セット

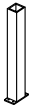
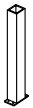
| 名 称                         | 略 図                                                                                  | 員 数 |     |
|-----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----|
|                             |                                                                                      | 片引き | 両引き |
| 引戸本体                        |  | 1   | 2   |
| 転倒防止金具                      |   | 4   | 8   |
| 前ストッパー（G.L.）                |  | 1   | 2   |
| 後部ストッパー（G.L.）               |   | 1   | 2   |
| 落とし棒受けパイプ                   |   | 2   | 4   |
| 【1-1】 M10×40グリップアンカー        |   | 2   | 4   |
| 【1-2】 M10×25六角ボルト           |   | 2   | 4   |
| 【1-3】 M10バネ座金               |   | 2   | 4   |
| 【1-4】 M10平座金                |   | 2   | 4   |
| 【1-5】 φ10×60オールアンカー         |   | 2   | 4   |
| 【1-6】 M6×15座金組込六角ボルト（PW+SW） |   | 8   | 16  |

## 【2】電動柱セット

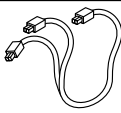
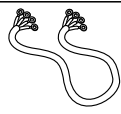
| 名 称                  | 略 図                                                                                  | 員 数 |     |
|----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----|
|                      |                                                                                      | 片引き | 両引き |
| 電動柱セット               |     | 1   | 2   |
| ベースプレート              |    | 1   | 2   |
| 電動柱固定アングル            |    | 2   | 4   |
| 埋設ケーブルカバー            |     | 1   | 2   |
| マグネットスイッチ            |    | 2   | 4   |
| 押えローラーセット            |   | 1   | 2   |
| アンテナ                 |   | 1   | 2   |
| リモコン送信器              |  | 1   | 2   |
| 【2-1】 M8×20座金組込六角ボルト |  | 8   | 16  |
| 【2-2】 M8×15座金組込六角ボルト |   | 4   | 8   |
| 【2-3】 φ4×12トラスタッピンネジ |   | 4   | 8   |
| 【2-4】 M4×8ナベネジ       |   | 4   | 8   |
| 【2-5】 M6×15座金組込六角ボルト |  | 4   | 8   |
| 取付説明書<A439>          | —                                                                                    | 1   | 1   |
| 取扱説明書<UD070>         | —                                                                                    | 1   | 1   |

## ■梱包明細表(つづき)

### 【3】 センサー柱セット

| 名 称                 | 略 図                                                                               | 員 数 |     |
|---------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-----|-----|
|                     |                                                                                   | 片引き | 両引き |
| センサー柱（投光側）          |  | 2   | 2   |
| センサー柱（受光側）          |  | 2   | 2   |
| 柱キャップ               |  | 4   | 4   |
| センサーフード             |  | 4   | 4   |
| 【3-1】φ4×10トラスタッピンネジ |  | 24  | 24  |

### 【4】 センサーケーブルセット

| 名 称      | 略 図                                                                                  | 員 数 |     |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----|
|          |                                                                                      | 片引き | 両引き |
| センサーケーブル |    | 2   | 2   |
| 連結ケーブル   |  | —   | 1   |

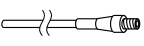
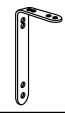
### 【5】 リモコン送信器セット

| 名 称     | 略 図                                                                                 | 員数 |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------|----|
| リモコン送信器 |  | 1  |
| 取扱説明書   | —                                                                                   | 1  |
| 保証書     | —                                                                                   | 1  |

### オプション

### 【6】 アンテナ延長ケーブルセット

### オプション

| 名 称        | 略 図                                                                                   | 員数 |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 延長ケーブル     |  | 1  |
| アンテナ取付金具   |  | 1  |
| φ3.5×20木ネジ |  | 2  |

## 1. 基本納り寸法

### 1-1 片引き

※ ( ) 内寸法はレール外寸650mmを示します。

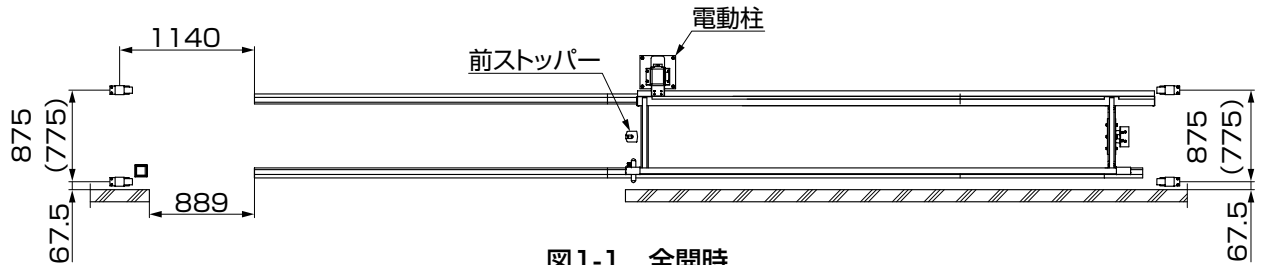


図1-1 全開時

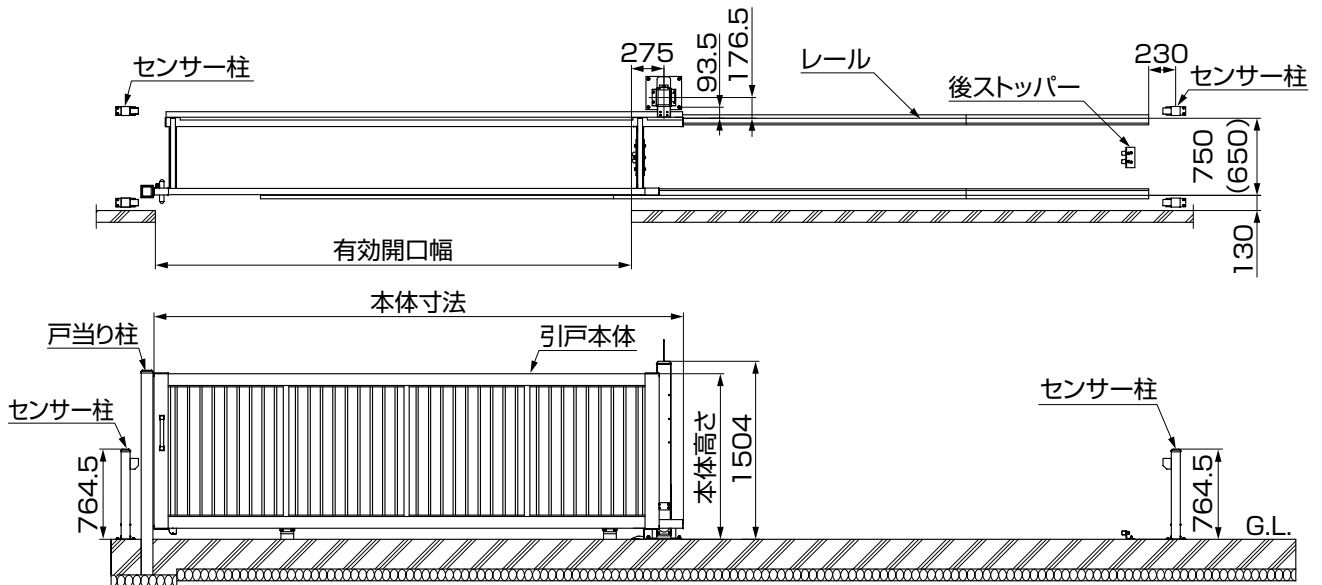


図1-2 全閉時

表1-1

| 呼 称         | 有効開口幅 | 本体寸法 |
|-------------|-------|------|
| W30-H12(14) | 3003  | 3453 |
| W40-H12(14) | 4021  | 4471 |
| W50-H12(14) | 5039  | 5489 |
| W60-H12(14) | 6057  | 6507 |

表1-2

| 呼 称     | 有効開口幅 | 本体寸法 |
|---------|-------|------|
| W30-H16 | 3001  | 3451 |
| W40-H16 | 4028  | 4478 |
| W50-H16 | 5055  | 5505 |
| W60-H16 | 6082  | 6532 |

表1-3

| 呼 称 | 本体高さ | 本体幅   |
|-----|------|-------|
| H12 | 1200 | 655.5 |
| H14 | 1400 | 655.5 |
| H16 | 1600 | 755.5 |

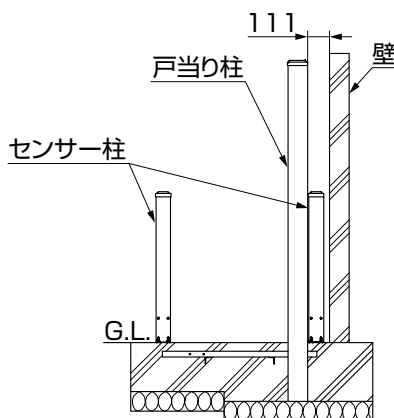


図1-3

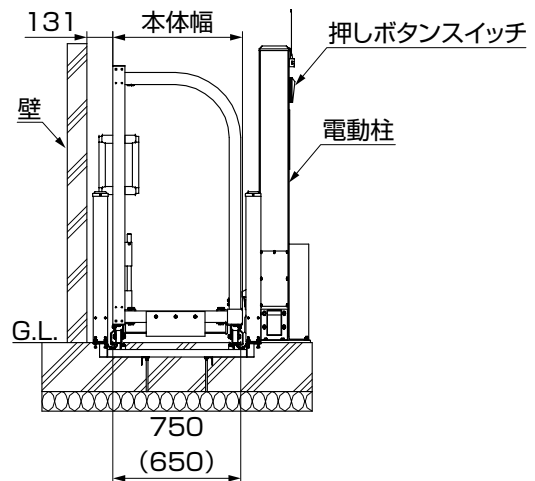


図1-5

# 1. (つづき)

## 1-2 両引き

※ ( ) 内寸法はレール外寸650mmを示します。

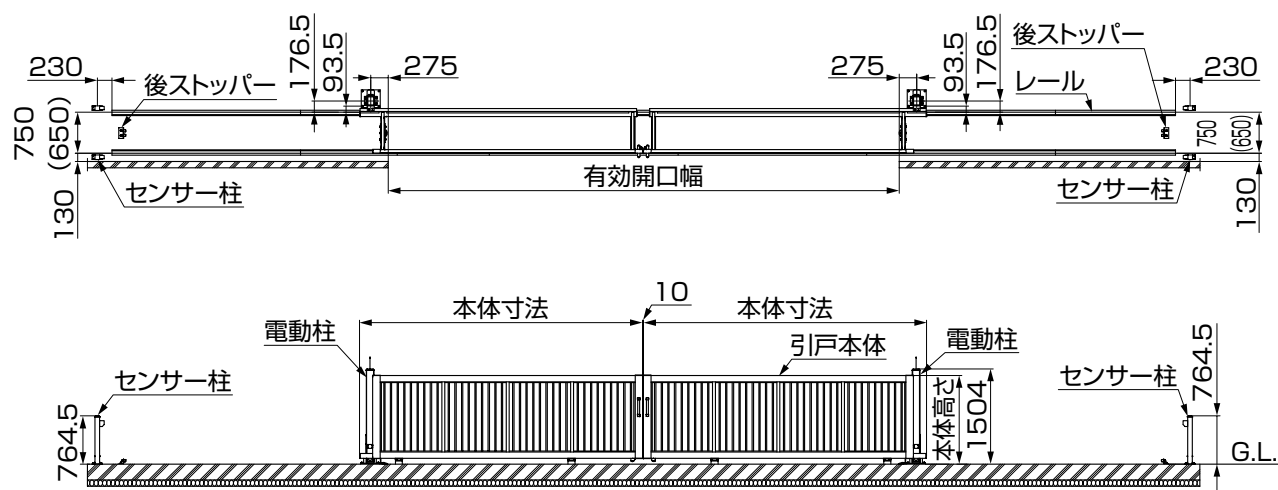
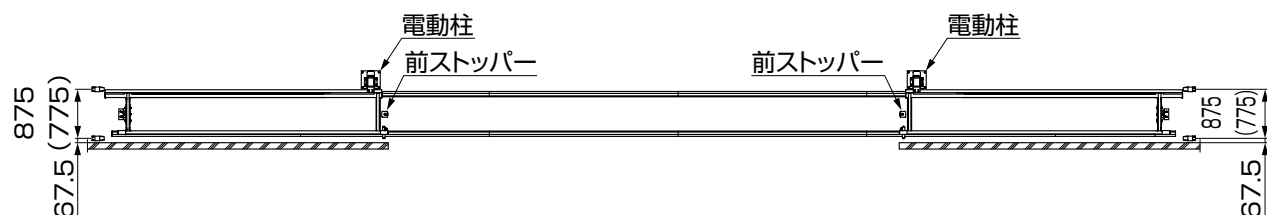


表1-4

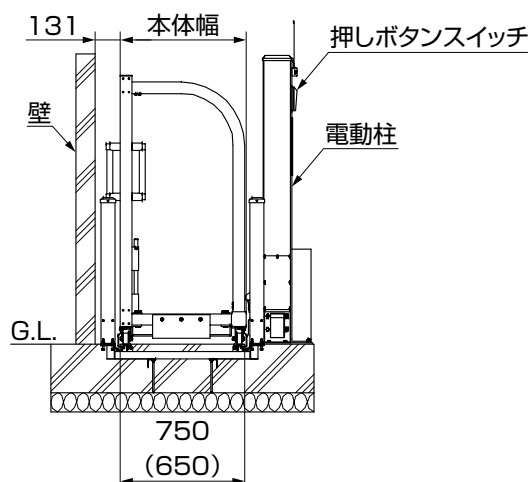
| 呼 称            | 有効開口幅 | 本体寸法 |
|----------------|-------|------|
| W30-30-H12(14) | 6020  | 3453 |
| W40-40-H12(14) | 8056  | 4471 |
| W50-50-H12(14) | 10092 | 5489 |
| W60-60-H12(14) | 12128 | 6507 |

表1-5

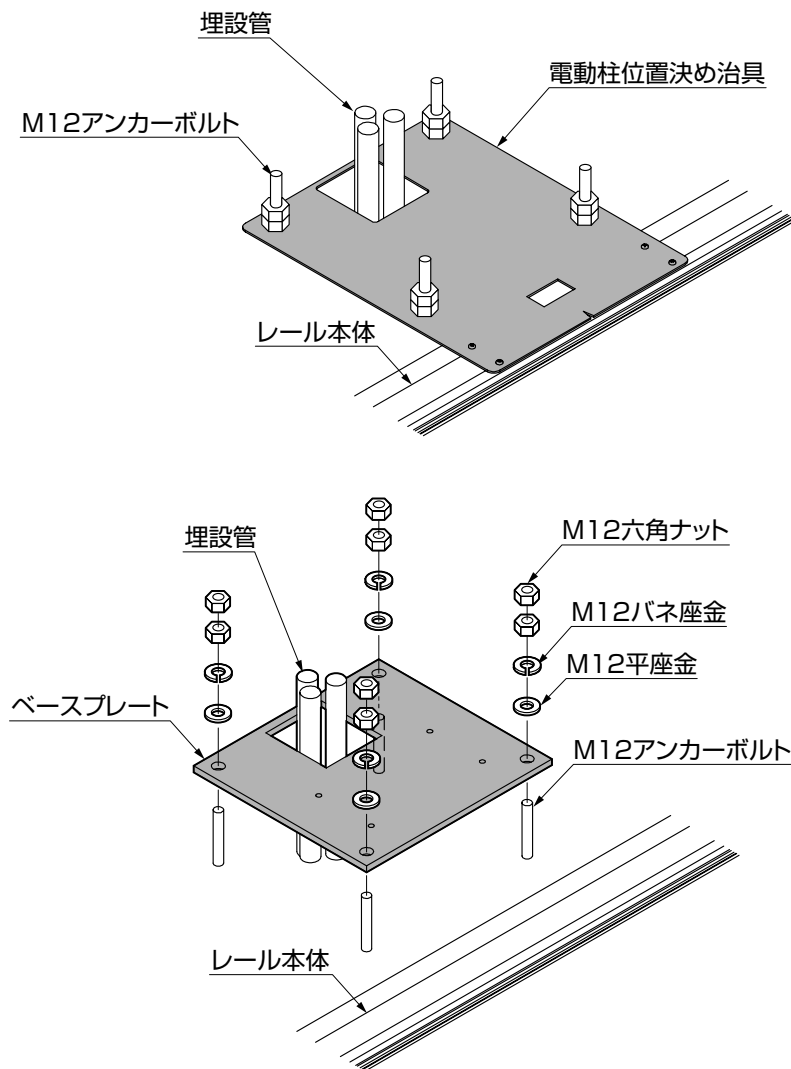
| 呼 称        | 有効開口幅 | 本体寸法 |
|------------|-------|------|
| W30-30-H16 | 6016  | 3451 |
| W40-40-H16 | 8070  | 4478 |
| W50-50-H16 | 10124 | 5505 |
| W60-60-H16 | 12178 | 6532 |

表1-6

| 呼 称 | 本体高さ | 本体幅   |
|-----|------|-------|
| H12 | 1200 | 655.5 |
| H14 | 1400 | 655.5 |
| H16 | 1600 | 755.5 |



## 2. ベースプレートの取付け



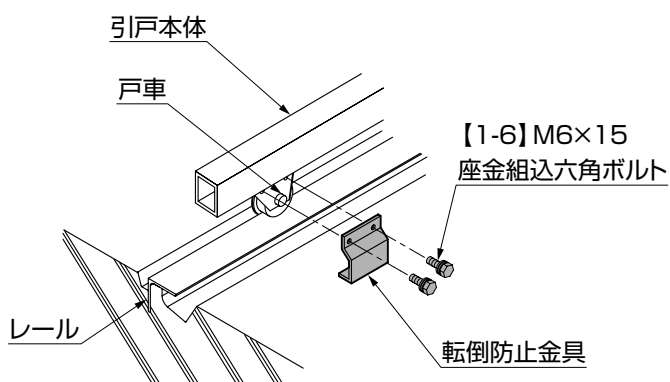
①あらかじめ取付いているM12六角ボルト、M12バネ座金、M12平座金をはずして、電動柱位置決め治具を取り外してください。

②取付いていたM12六角ナット、M12バネ座金、M12平座金でベースプレートを取付けてください。

### 補足

●M12六角ナット、M12バネ座金、M12平座金は電動柱位置決め治具に取付いているものを使用してください。

## 3. 転倒防止金具の取付け



①引戸本体をレールに乗せた後、転倒防止金具を【1-6】で取付けてください。

## 4. 電動柱の取付け

### 4-1 電動柱固定アングルの取付け

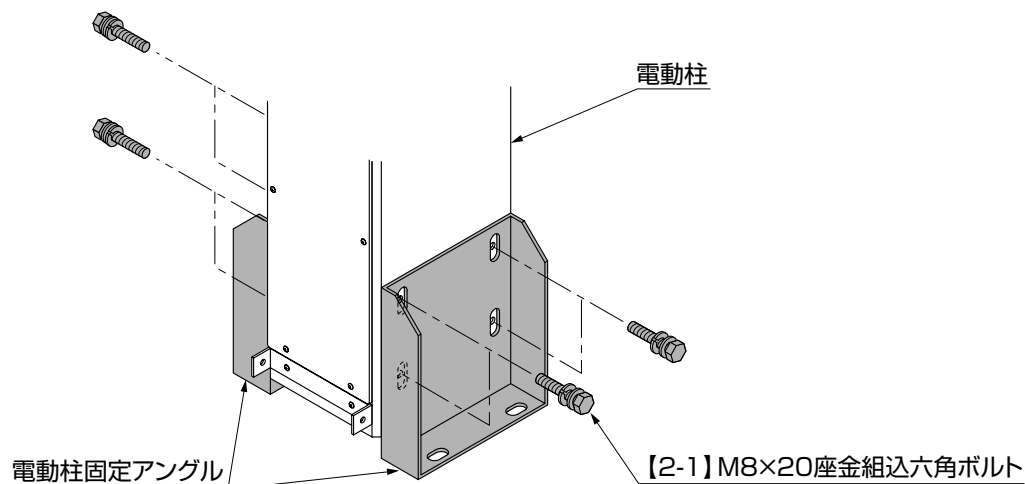


図4-1

- ①電動柱に電動柱固定アングルの【2-1】で仮止めしてください。

#### ポイント

- 電動柱固定アングルはベースプレートに取付けるまでの間は、仮止め状態にしてください。

### 4-2 電動柱の取付け

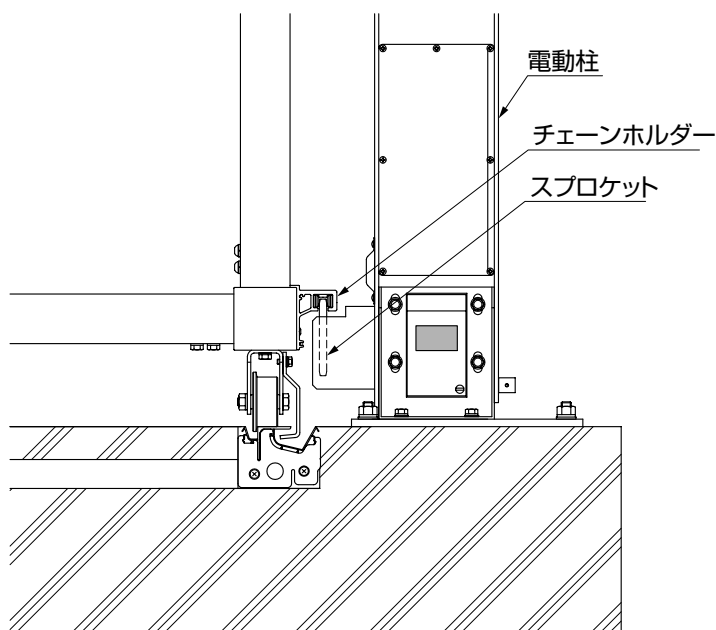


図4-2

- ①電動柱のスプロケットがチェーンホルダーにぶつからないようにチェーンホルダーの下側からスプロケットをチェーンホルダーに挿入してください。

#### ポイント

- スプロケットをチェーンホルダーにぶつけると、スプロケットが破損するおそれがあります。スプロケットが破損すると引戸の開閉ができなくなります。

## 4-3 電動柱の固定

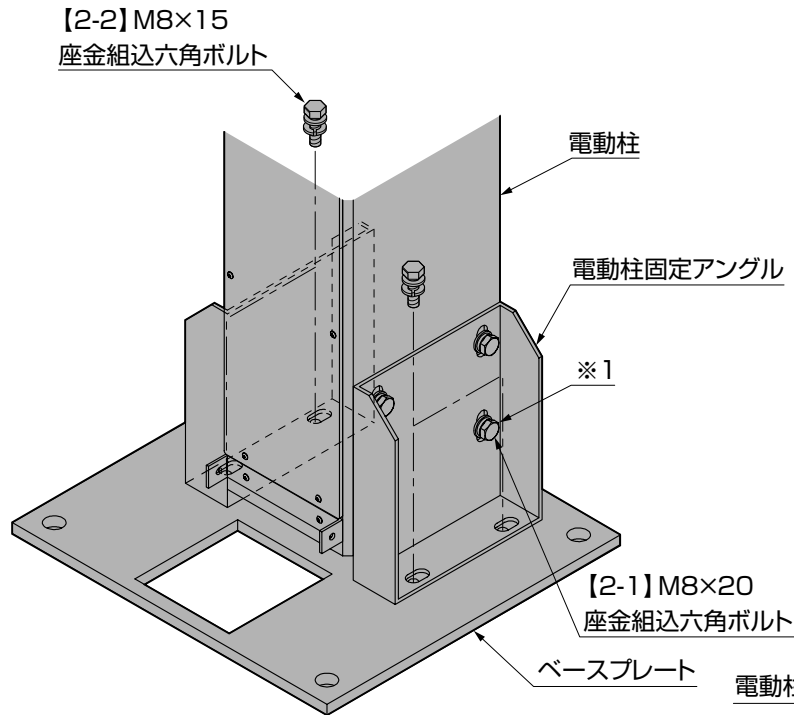


図4-3

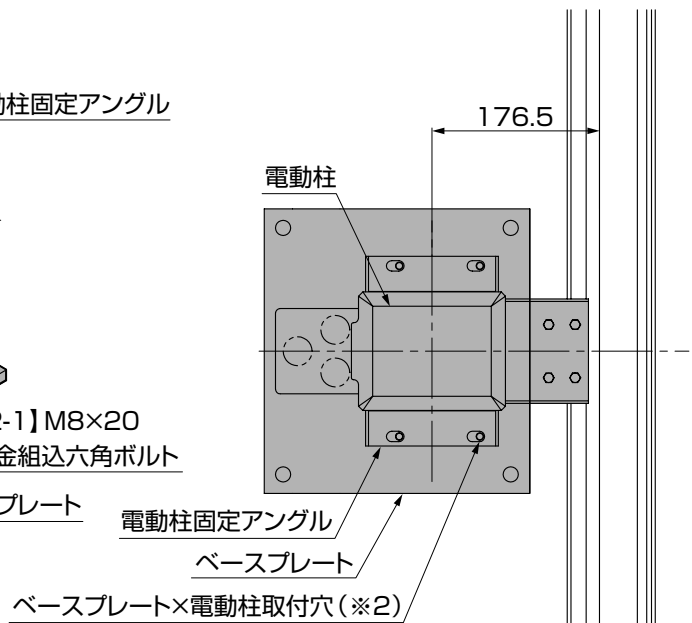


図4-4

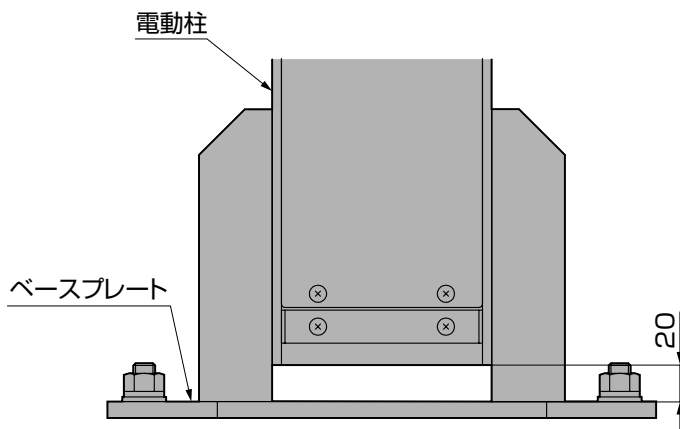


図4-5

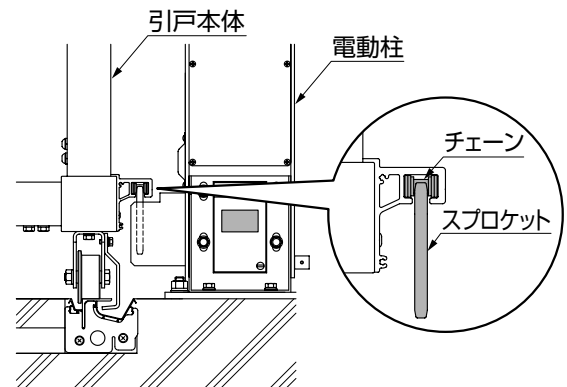


図4-6

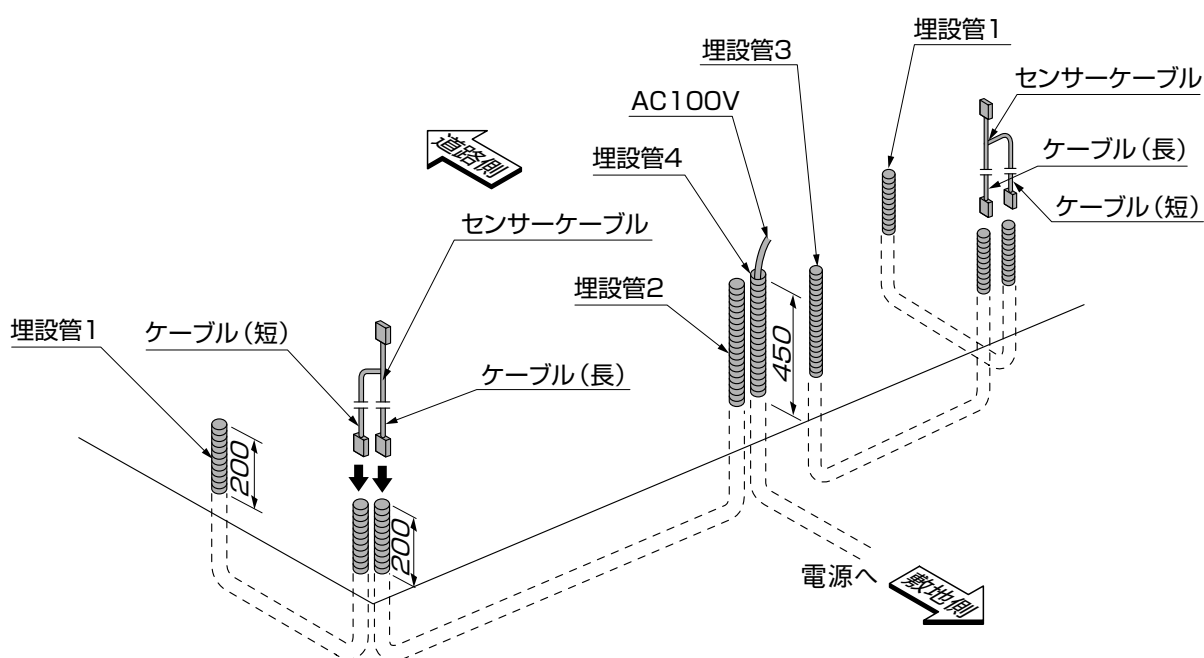
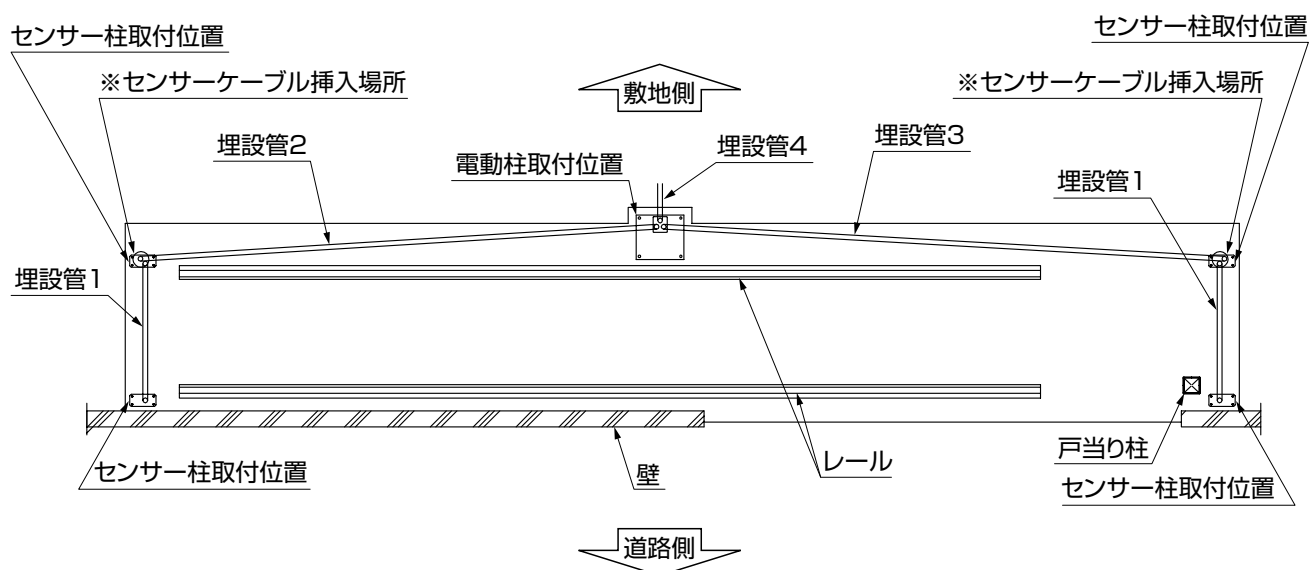
- ①電動柱をベースプレートに【2-2】で固定してください。
- ②電動柱を垂直にしてから、仮止めしてある【2-1】を固定してください。その際、スプロケットとチェーンが確実にかみあっているか、確認してください。

### ポイント

- 電動柱固定アングル取付穴は長穴になっていますが、標準位置は長穴の中心（※1）になります。
- ベースプレートと電動柱のすき間は20mmになります。
- ベースプレート×電動柱取付穴は長穴になっていますが、長穴右側が標準取付位置（※2）になります。（図4-4参照）

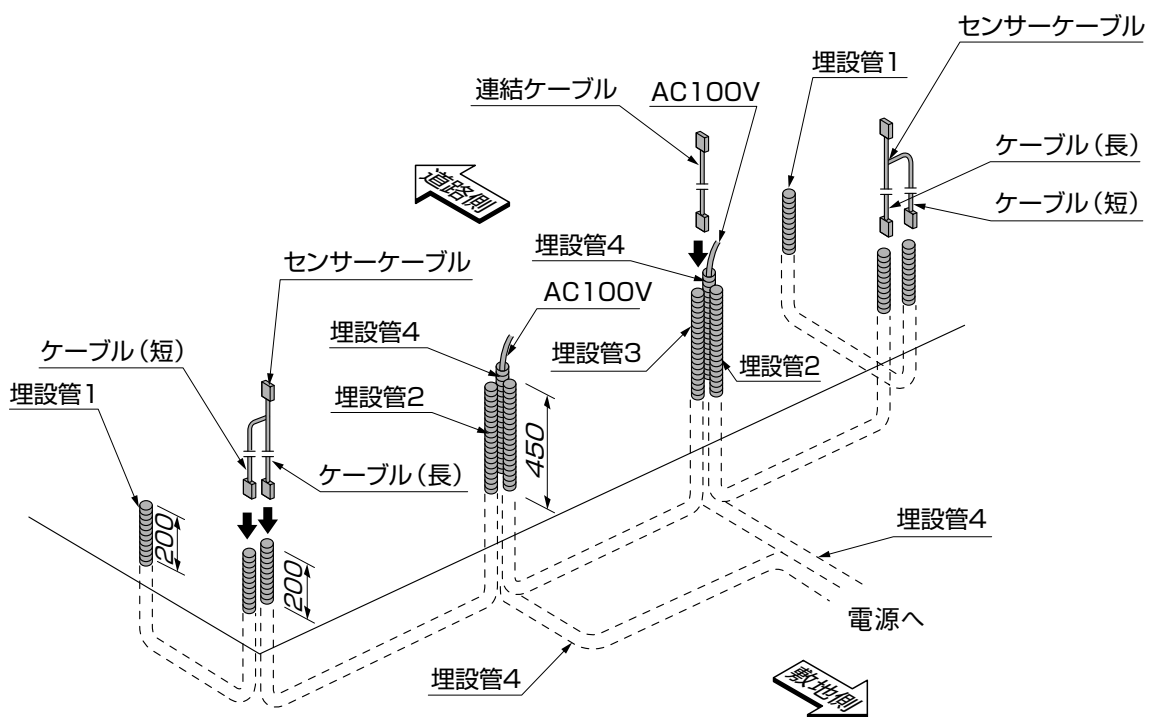
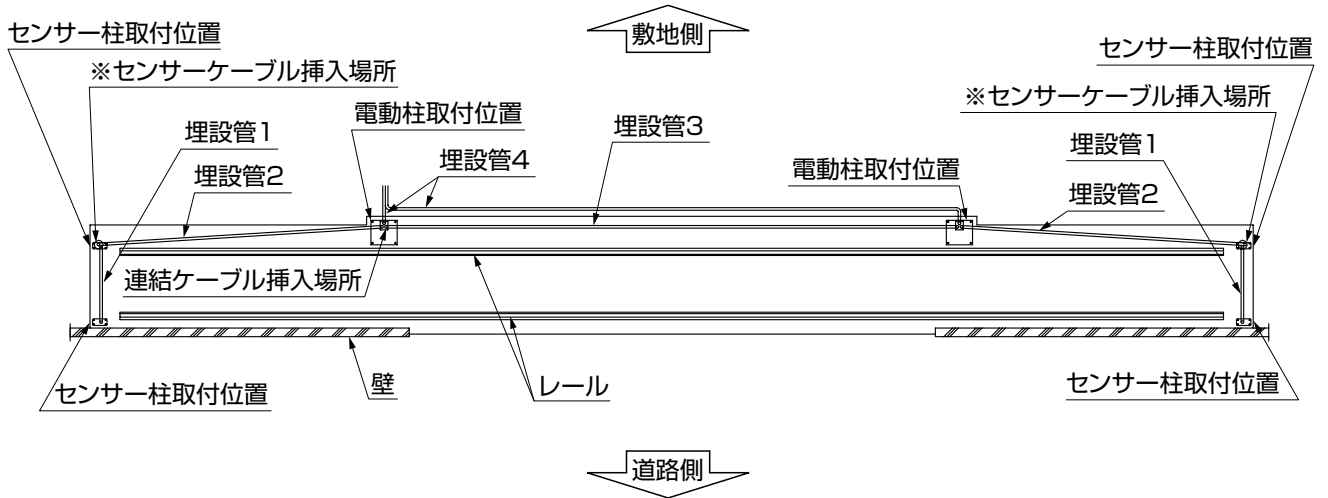
## 5. ケーブルの配線方法

### 5-1 片開き



- ①センサーケーブル挿入場所から、センサーケーブルを埋設管に通してください。その際、短い方のケーブルを埋設管1に、長い方のケーブルを埋設管2、3に通してください。

## 5-2 両開き



- ①センサーケーブル挿入場所から、センサーケーブル、連結ケーブル挿入場所から連結ケーブルを埋設管に通してください。センサーケーブルは、短い方のケーブルを埋設管1に、長い方のケーブルを埋設管2に通してください。

## 6. センサー柱の取付け

### 6-1 センサー柱の取付け

※ ( ) 内寸法はレール外寸650mmを示します。

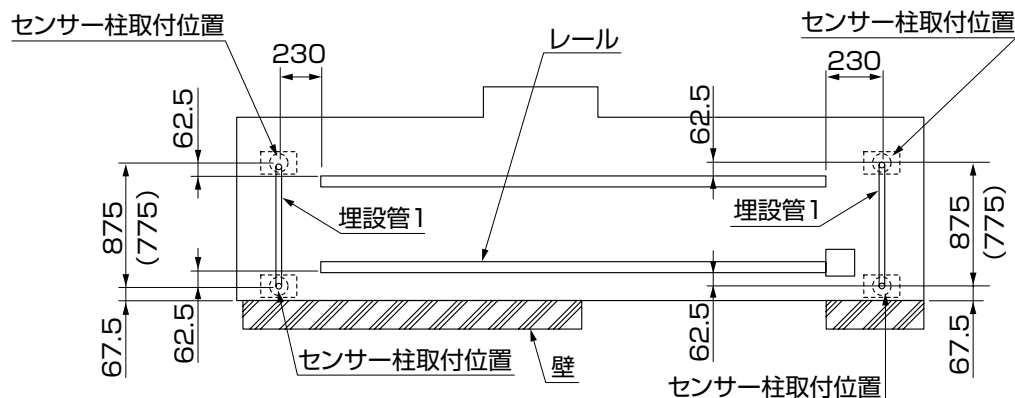


図6-1 片開き

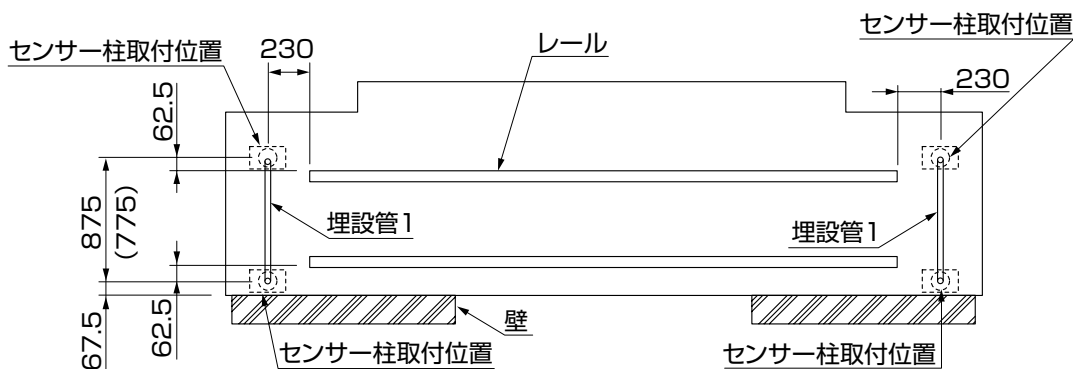


図6-2 両開き

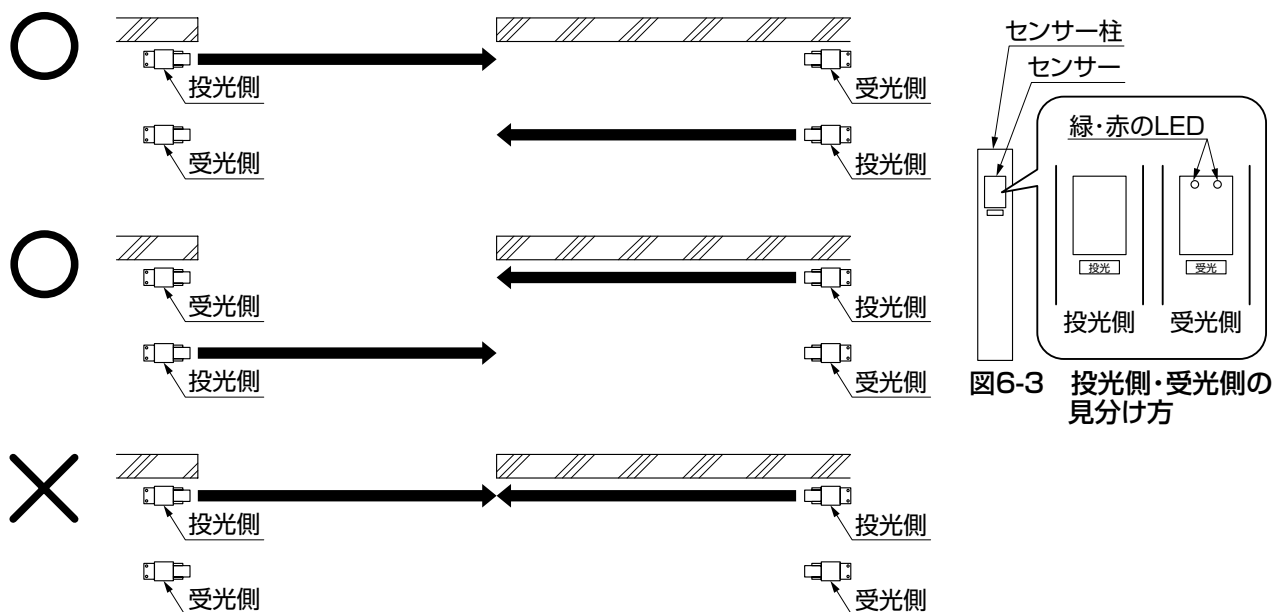
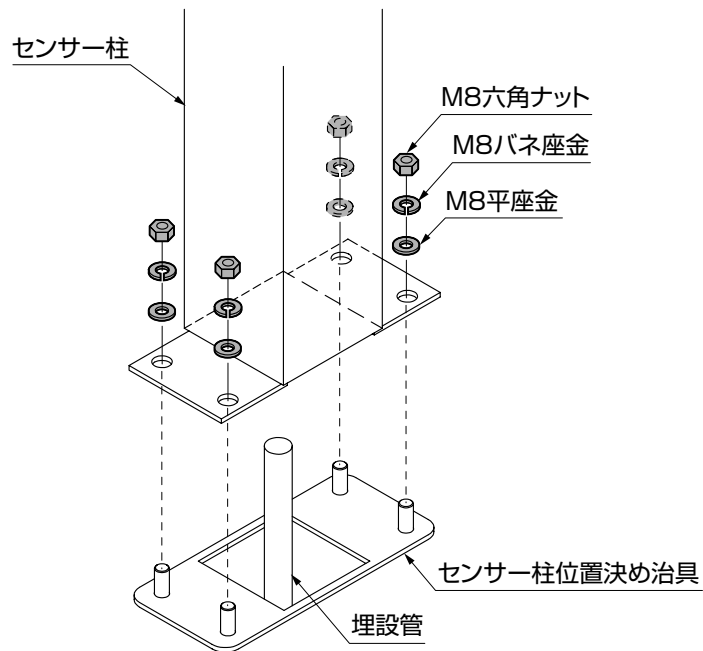


図6-3 投光側・受光側の見分け方

① センサー柱の投光側と受光側が、交互になるように取付けてください。

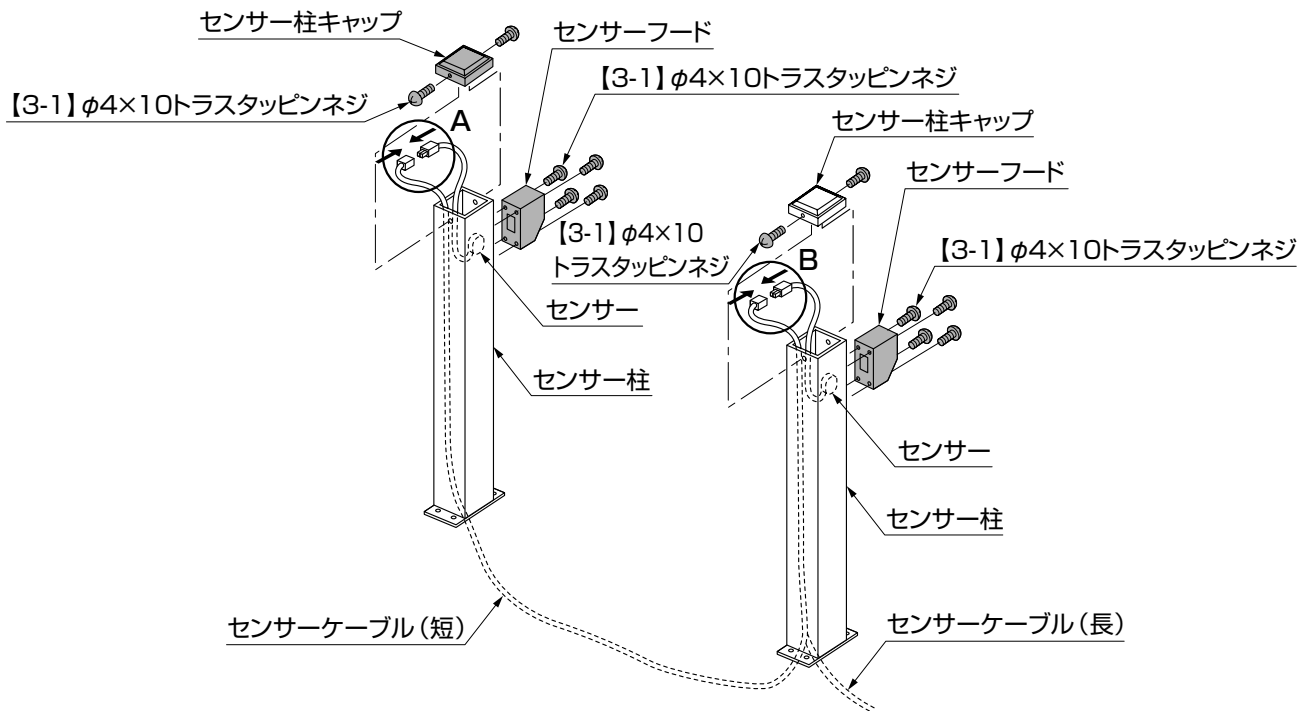
#### 補足

● センサー柱の投光側と受光側の見分け方は図6-3を参照してください。



②あらかじめ、センサー柱位置決め治具に取付いている、M8六角ナット、M8バネ座金、M8平座金でセンサー柱を固定してください。

## 6-2 配線および部品の取付け



- ①センサーフードを【3-1】で取付けてください。
- ②センサー柱キャップを【3-1】で取付けてください。

### ポイント

- コネクタを必ず接続してください。接続したコネクタとコードを柱内部に納めてください。この時コネクタおよびコードは、センサーの後部に納めてください。(A・B部参照)

## 7. 前後ストッパーの取付け

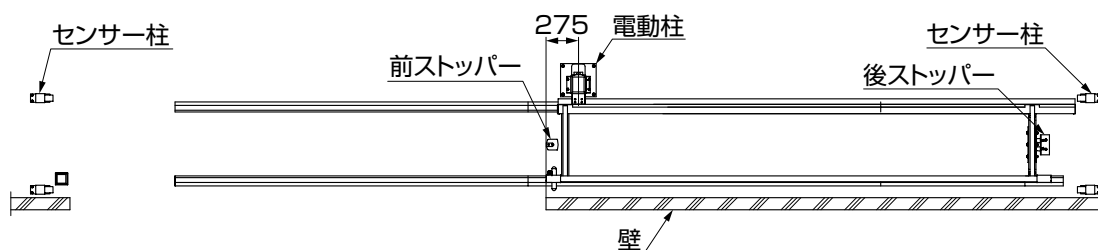


図7-1 全開時

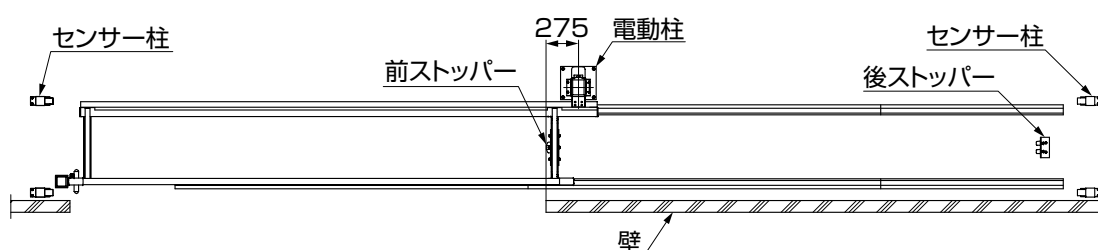


図7-2 全閉時

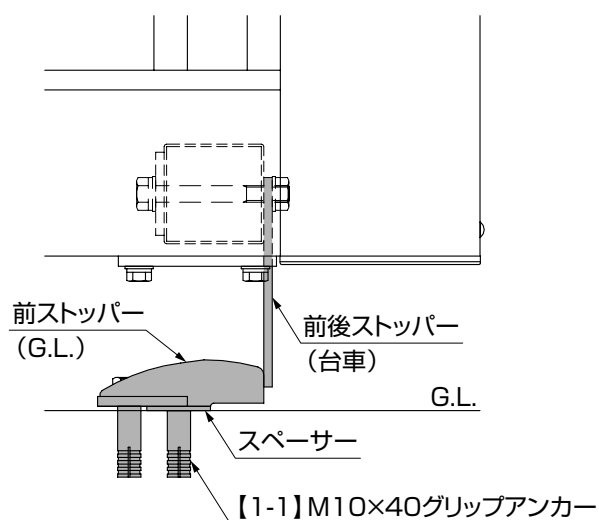


図7-3 全閉時

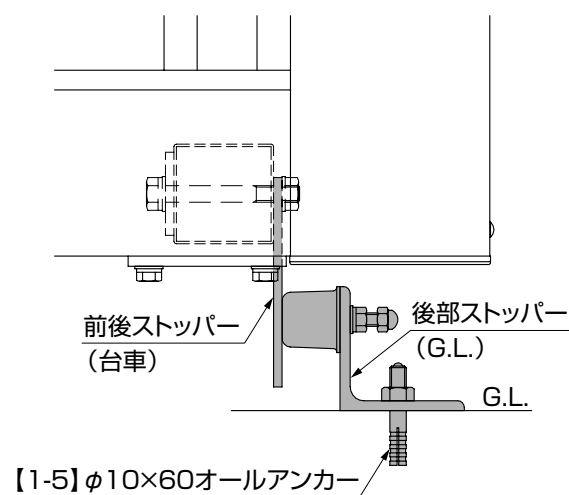
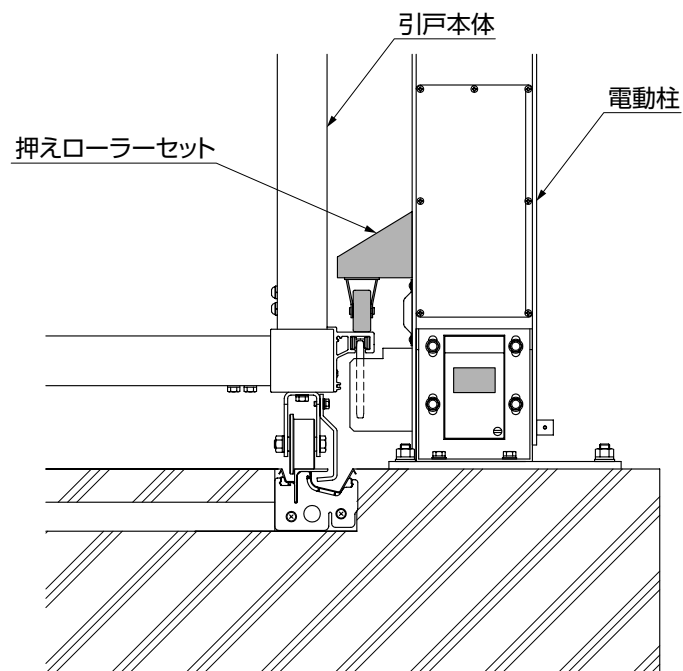
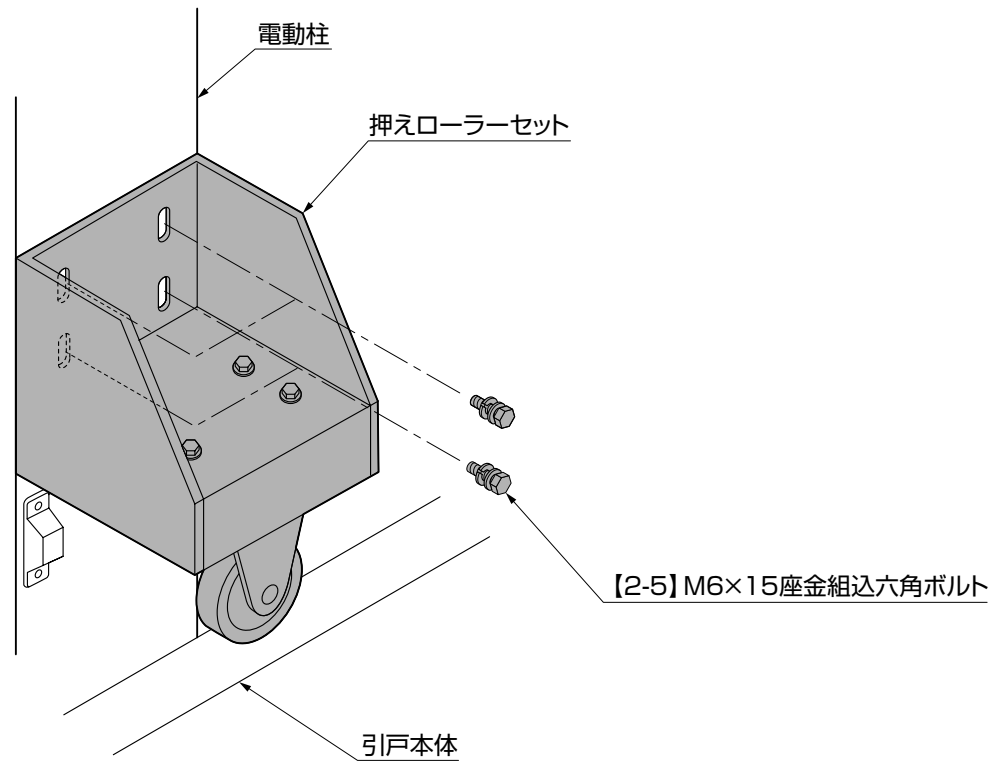


図7-4 全開時

①上記位置で引戸が停止するように、前ストッパー、後部ストッパーを取付けてください。

## 8. 押えローラーセットの取付け

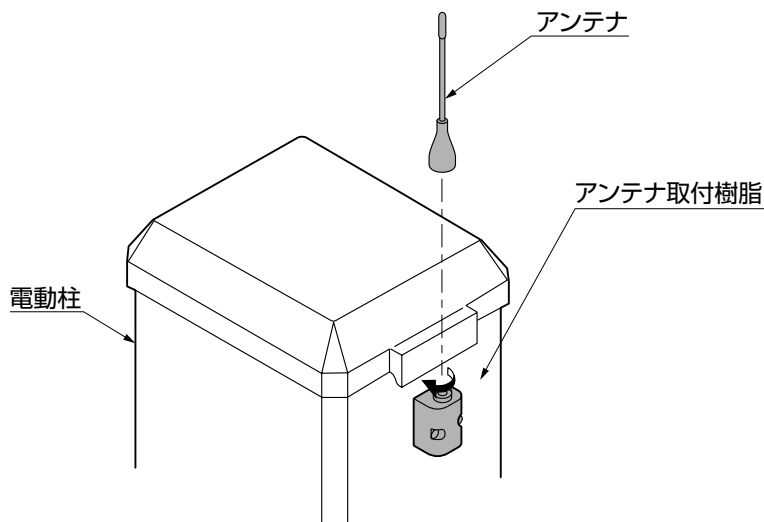


①引戸本体を押さえるように押えローラーセットを電動柱に【2-5】で取付けてください。

## 9. アンテナの取付け

※使用環境の違いによりリモコン到達距離が短くなる場合があります。その場合はオプションのアンテナ延長ケーブルセットをご使用ください。

### 9-1 電動柱に取付ける場合

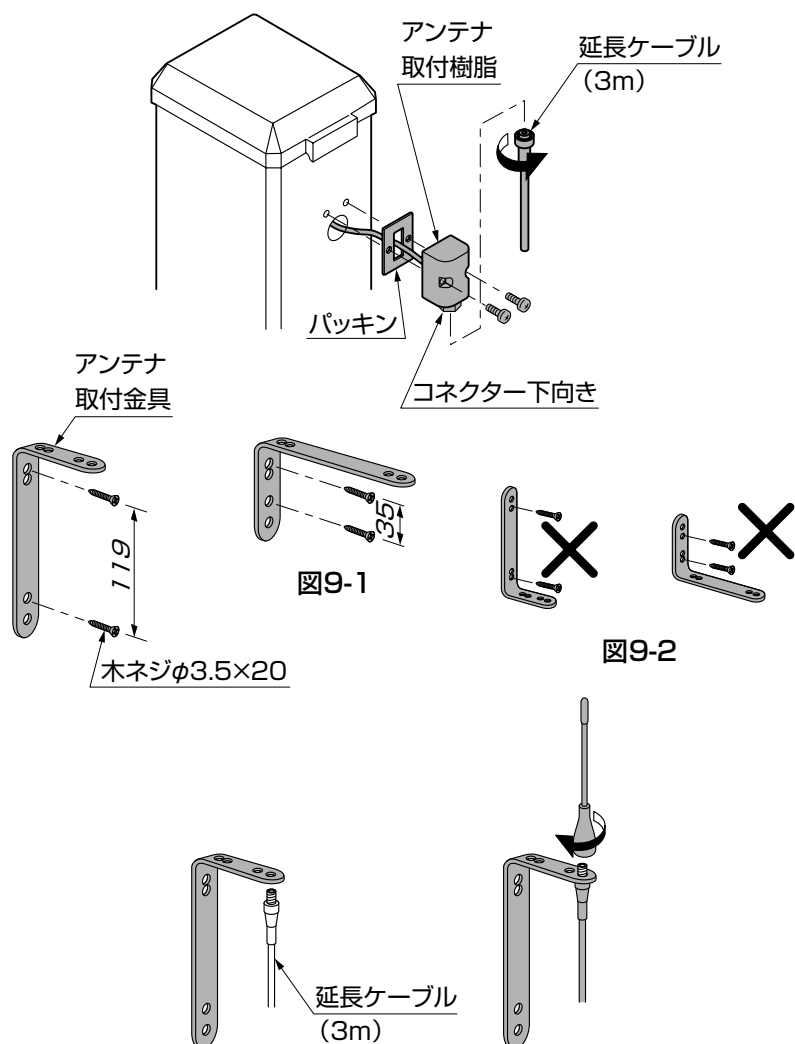


#### ポイント

- 延長ケーブルは3mあります。アンテナを取付ける場所と電動柱の距離を確認してから取付けてください。

- ①アンテナをアンテナ取付樹脂に時計回りにまわして取付けてください。

### 9-2 延長ケーブルを使用する場合



- ①アンテナ取付樹脂を外しコネクターが下向きになるように、再度取付けてください。
- ②延長ケーブルを取付けてください。

#### ポイント

- コネクターを下向きに付けない場合故障の原因になります。
- アンテナ取付樹脂は無理に引っ張らないでください。
- 延長ケーブルを取付ける場合には必ずアンテナ取付樹脂に取付けてください。

- ③アンテナ取付金具を壁に固定してください。

#### ポイント

- 取付金具をできるだけ高く金属の構造物から離れた位置に取付けてください。
- 金属に近い場合は図9-1のような取付けをしてください。(図9-1参照)
- 図9-2のようには取付金具を取付けないでください。(図9-2参照)

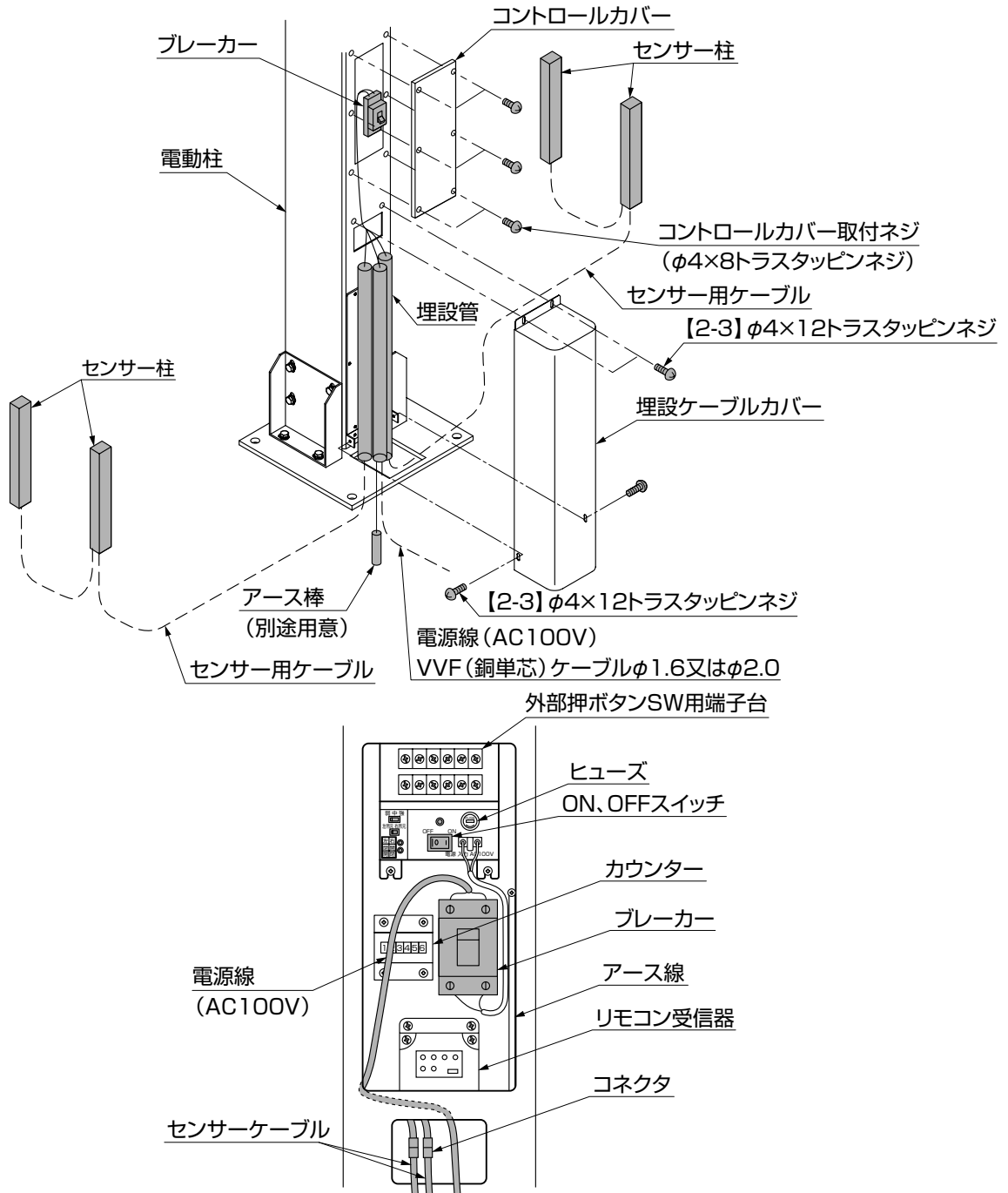
- ④アンテナ取付金具の穴に延長ケーブルを通し、アンテナを取付けてください。

## 10. 電動柱の配線方法

### ⚠ 注意

●電源線の施工、第3種接地工事は電気工事の有資格者に依頼してください。

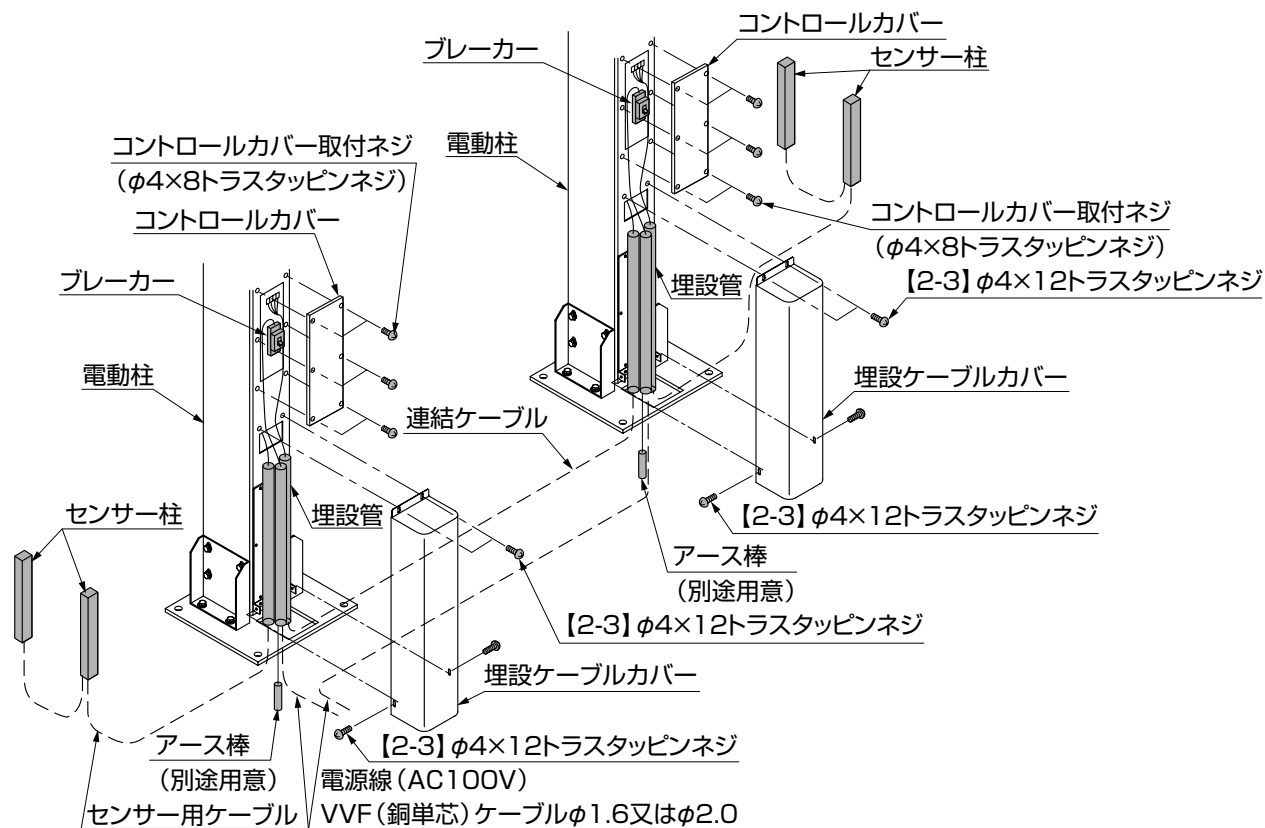
### 10-1 片開き



- ①コントロールカバー取付ネジ6個を緩めて取外し、コントロールカバーを取外してください。
- ②電源線 (AC100V) を柱の中に通し、ブレーカーにつないでください。
- ③各センサー柱につないでいるセンサー用ケーブルのコネクタを、電動柱から出ているコネクタに接続し、電動柱の中に押し込んでください。（※コネクタは各センサー共通です）
- ④第3種接地工事をこなしてください。
- ⑤コントロールカバーをコントロールカバー取付ネジで埋設ケーブルカバーを【2-3】で電動柱に取付けてください。

## 10. (つづき)

### 10-2 両開き



連結ケーブル及び外部押ボタンSW用端子台

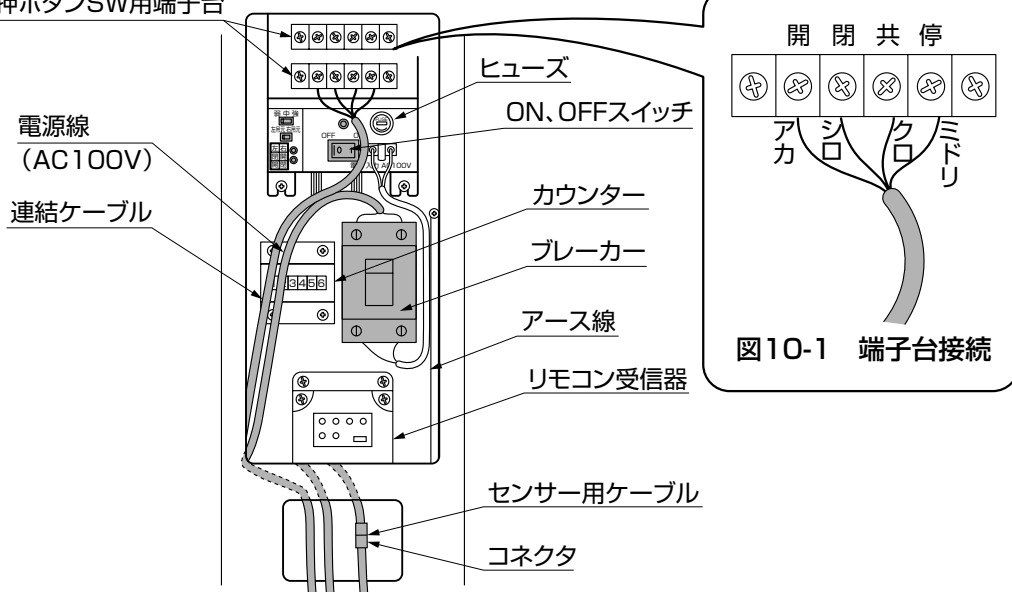


図10-1 端子台接続

- ①コントロールカバー取付ネジ6個を緩めて取外し、コントロールカバーを取外してください。
- ②電源線 (AC100V) を柱の中に通し、ブレーカーにつないでください。
- ③各センサー柱につないでいるセンサー用ケーブルのコネクターを、電動柱から出ているコネクターに接続し、電動柱の中に押込んでください。
- ④電動柱連結ケーブルを柱の中を通し、外部押ボタンスイッチ用端子台につないでください。
- ⑤第3種接地工事を行なってください。
- ⑥コントロールカバーをコントロールカバー取付ネジで埋設ケーブルカバーを【2-3】で電動柱に取付けてください。

## 11. センサーについて

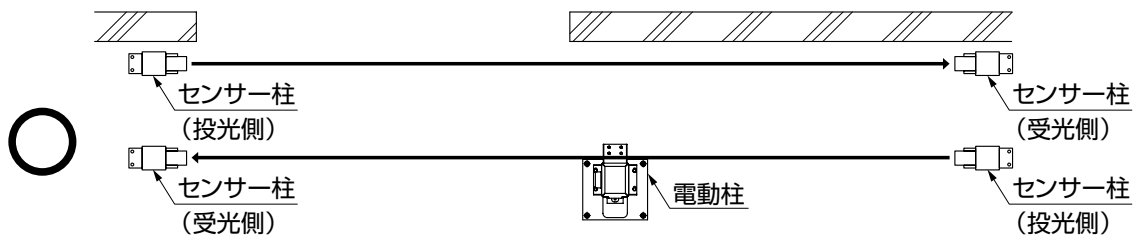


図11-1

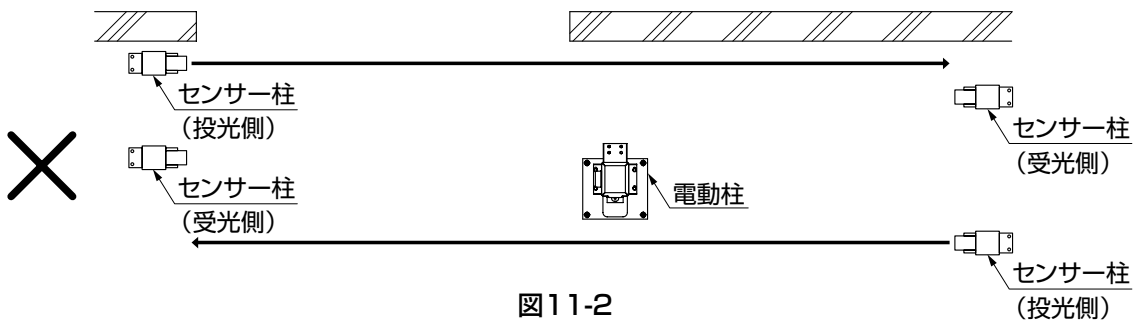


図11-2

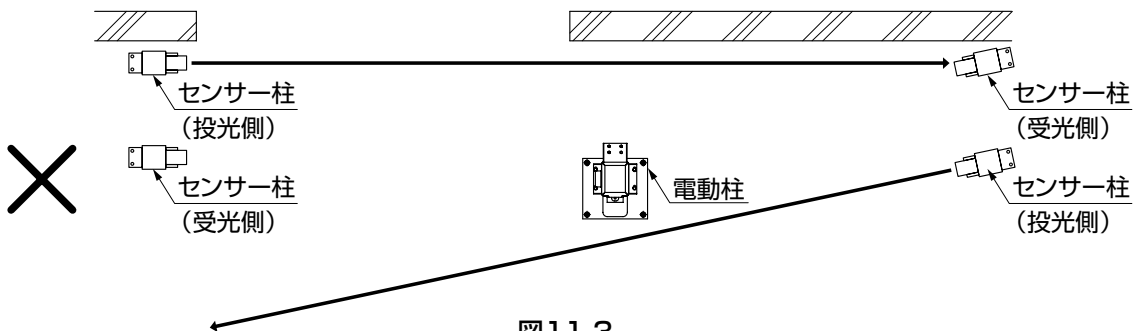


図11-3

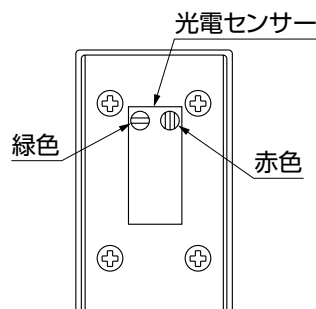


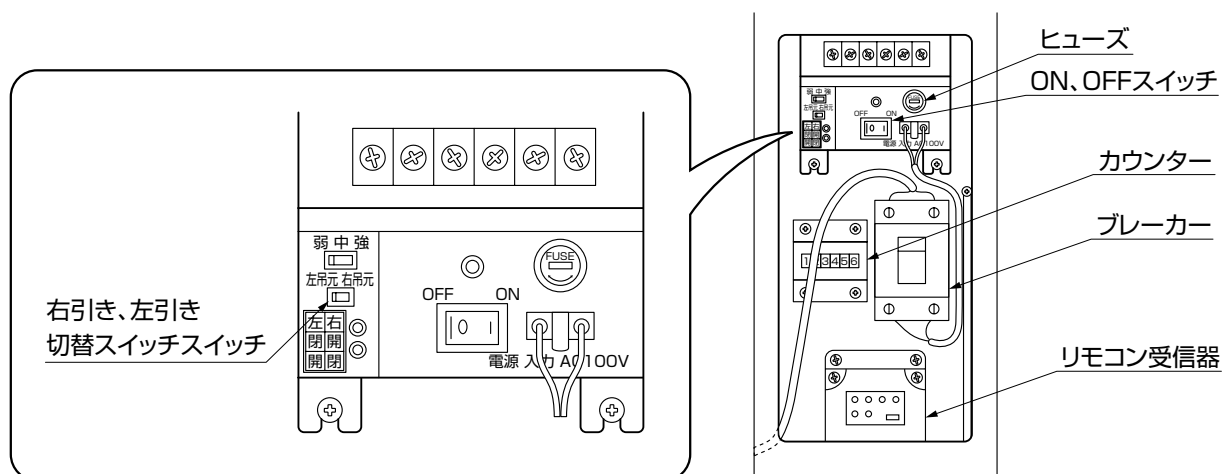
図11-4 センサー柱（受光側）

①センサー柱（投光側）とセンサー柱（受光側）の光軸を合わせるように組付けてください。

### ポイント

- センサーの特性上、図11-2、11-3のような組付け時には、センサーが誤作動したり、引戸が開閉しなくなりますのでセンサーは必ず光軸を合わせて取付けてください。（図11-2、11-3参照）
- センサー柱（受光側）には緑と赤のLEDがあります。（図11-4参照）
- 緑色のみ点灯している時・・・光軸が一致していない状態
- 緑色と赤色が点灯している時・・・光軸が一致している状態

## 12. 右引き、左引きの切替について



- ①コントロールカバーを外してください。
- ②引戸が右引きのときは、右吊元に、左引きのときは左吊元に切替スイッチを動かしてください。
- ③コントロールカバーを取付けてください。

### 補足

- 初期設定は右引きになっています。左引きでお使いの場合は、切替スイッチを動かしてください。

### 13. マグネットスイッチの取付け

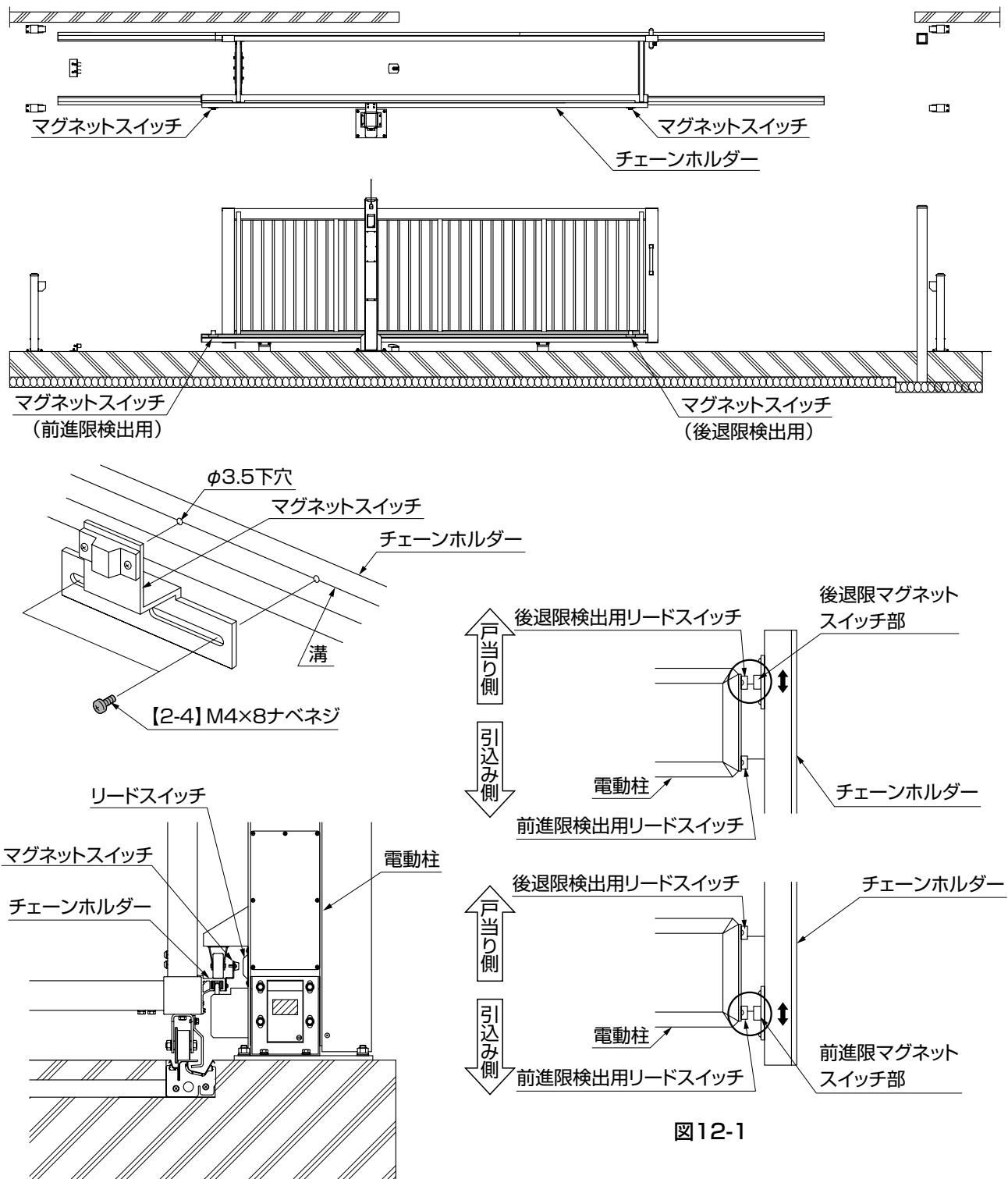
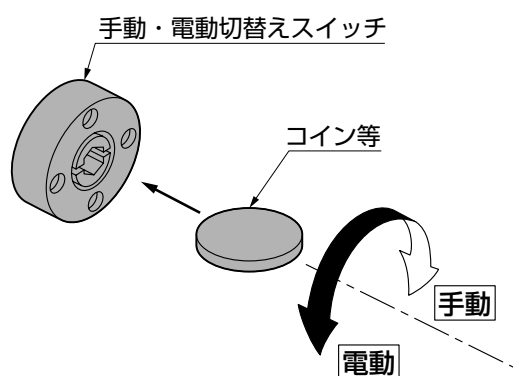
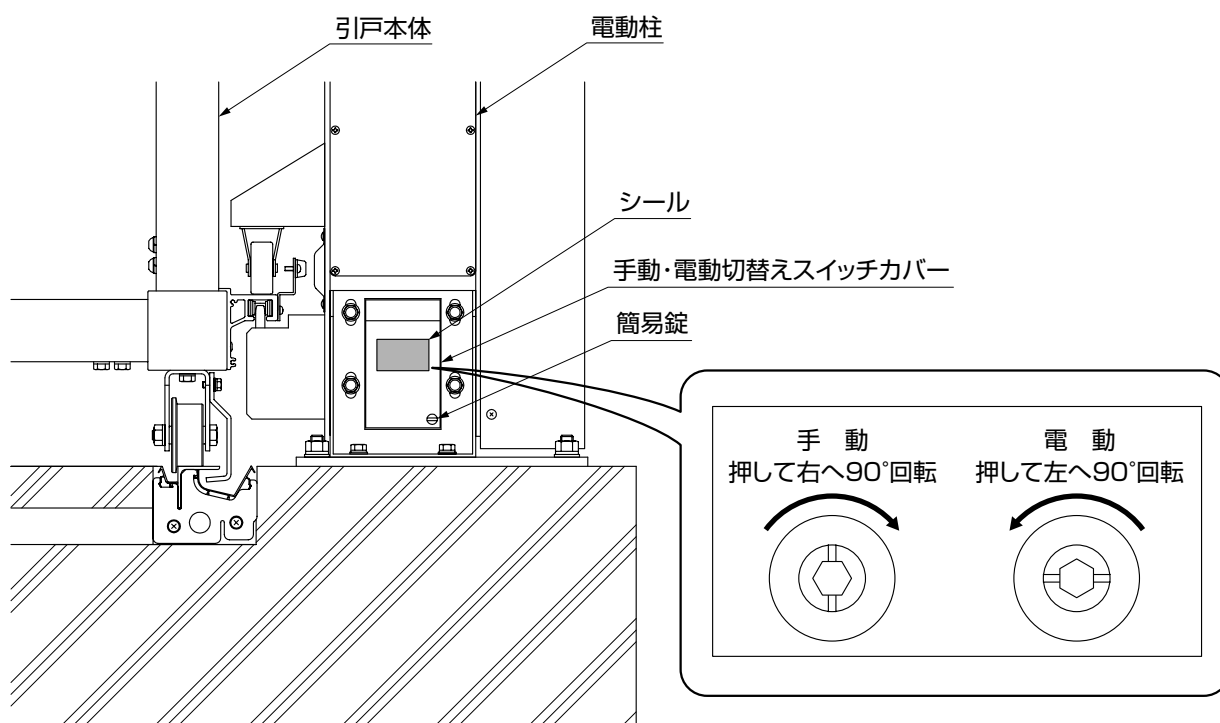


図12-1

- ①マグネットスイッチ裏面には仮止めの両面テープが貼ってありますので、目測で図12-1の位置になるよう取付けてください。
- ②リードスイッチとマグネットスイッチの中心が合うように、実際に動かしてみて位置を決めてください。
- ③チェーンホルダーの溝にドリルでφ3.5の下穴をあけ、【2-4】で固定してください。

## 14. 手動と電動の切替え方法について



- ①手動・電動を切替える場合は、手動・電動切替スイッチカバーの簡易錠をコイン等で開位置（溝が水平）まで回してカバーを開け、カバーに貼付けられたシールに従ってコイン等で切替えてください。

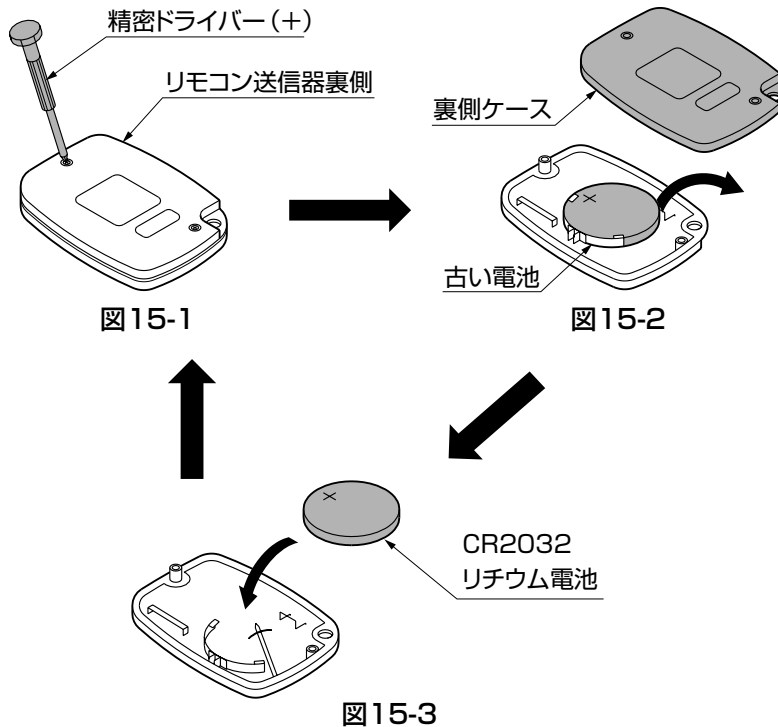
### 補足

- 電動柱は工場出荷時は手動になっています。

## 15. リモコンについて

※リモコン送信器の実用到達距離は約10mなのでその範囲内で操作してください。

### 15-1 電池の入れ方



#### 補足

- リモコンの到達距離が短くなったり、動作表示灯が点滅しなくなった場合は、速やかに新しい「リチウム電池CR2032」に交換してください。
- 電池寿命は、1日10回（開・閉・停 whichever 1操作／回）の使用で約5年です。

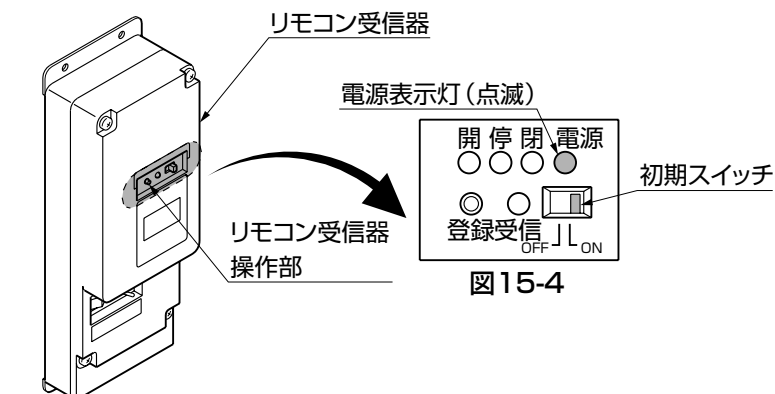
- ①リモコン送信器の裏側のネジ（2箇所）を精密ドライバー等ではずしてください。（図15-1参照）
- ②リモコン送信器の裏側のケースをはずし古い電池を取り出してください。（図15-2参照）
- ③新しい電池を「+マーク」が見える向き（上側）にはめ込んでください。（図15-3参照）
- ④はずしたケースを取付けてください。（図15-1参照）

#### 注意

- 電池の極性「+、-」を確認の上セットしてください。
- 電池交換の際は、水分やほこり等が入らないように注意してください。また、回路部に触れぬようにご注意ください。

## 15. (つづき)

### 15-2 登録方法



コントロールボックス

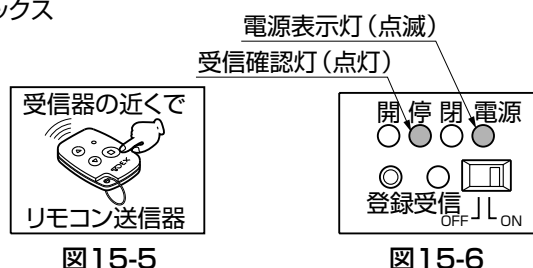


図15-5

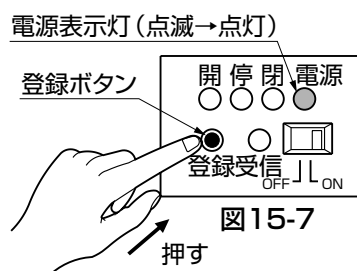


図15-6

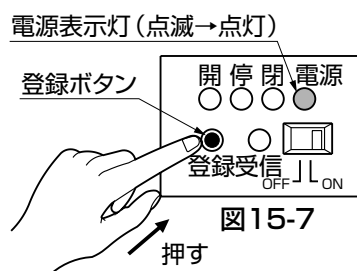


図15-7

- ①電動柱のコントロールカバーをはずしてください。
- ②リモコン受信器の初期スイッチを「ON」にしてください。

#### 補足

- 電源表示灯が点滅（緑色）します。（図15-4参照）
- 点滅しない場合は、初期スイッチを一度「OFF」にし、もう一度「ON」側にします。

- ③リモコン受信器の近くで、登録するリモコン送信器の「停止」ボタンを押してください。（図15-5参照）

#### 補足

- リモコン受信器の受信確認灯「停」が点灯（赤色）し、送信器登録が完了します。（図15-6参照）

- ④リモコン送信器の登録完了後、リモコン受信器の登録ボタンを押して登録または電源表示灯が「点灯」に変わるまで待ってください。（図15-7参照）

#### 補足

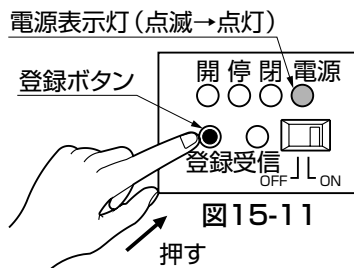
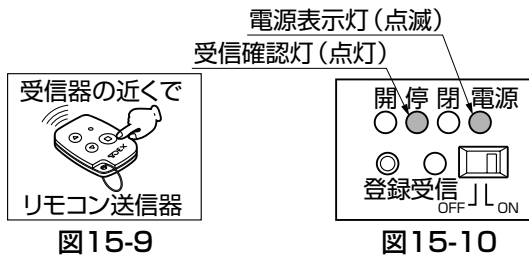
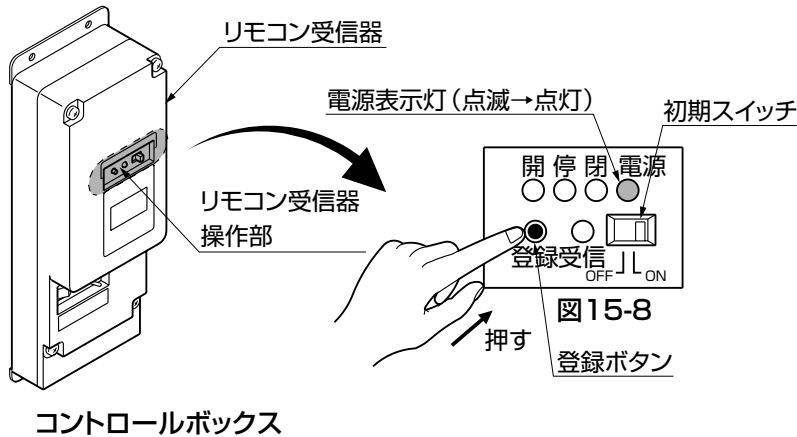
- 電源表示灯が「点灯」になり、受信器登録が完了します。

- ⑤はずしたコントロールカバーを取付けてください。ネジの締め忘れのないように注意してください。

#### ポイント

- 受信器への登録は、必ず電源表示灯が「点滅している1分間」に操作してください。
- 初期スイッチを「OFF」にすると、リモコン送信器の登録をすべて抹消します。登録が抹消した場合、リモコン送信器での操作はできなくなります。

## 15-3 追加登録方法



### ポイント

- リモコン送信器を増やす場合、初期スイッチは「ON」の状態に登録してください。

- ①電動柱のコントロールカバーをはずしてください。
- ②リモコン受信器の登録ボタンを押してください。(図15-8参照)。

### 補足

- 電源表示灯が点滅（緑色）します。(図15-8参照)
- リモコン送信器は、最大16個が「登録可能」です。

- ③リモコン受信器の近くで、登録するリモコン送信器の「停止」ボタンを押してください。(図15-9参照)

### 補足

- リモコン受信器の受信確認灯「停」が点灯（赤色）し、送信器登録が完了します。(図15-10参照)

- ④リモコン送信器の登録完了後、リモコン受信器の登録ボタンを押して登録または電源表示灯が「点灯」に変わるまで待ってください。(図15-11参照)

### 補足

- 電源表示灯が「点灯」になり、受信器登録が完了します。

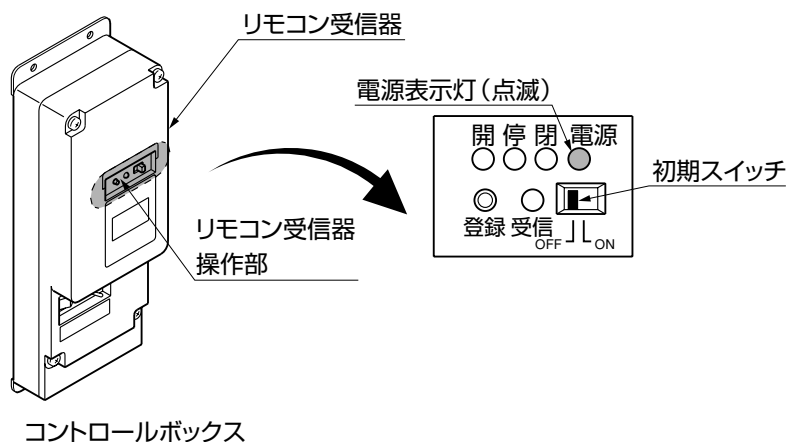
- ⑤はずしたコントロールカバーを取付けてください。ネジの締め忘れのないように注意してください。

### ポイント

- リモコン送信器を増やす場合、初期スイッチは絶対に動かさないでください（「ON」側のままで固定）。「OFF」にすると、登録をすべて抹消し、リモコン送信器での操作はできなくなります。
- 受信器への登録は、必ず電源表示灯が「点滅している1分間」に操作してください。

## 15. (つづき)

### 15-4 登録取消し方法



- ①すべての登録を取り消す場合は、リモコン受信器の初期スイッチを「OFF」側にしてください。

## 16. 引戸開閉操作の確認

### 16-1 リモコン送信器での操作方法

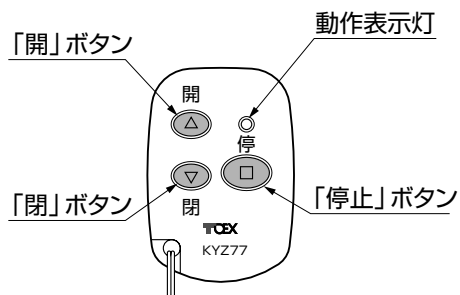


図16-1 MDC-3リモコン送信器

- ①「開」ボタンを1回押して、2秒以内にもう1回押してください。動作表示灯が点滅して、扉が開きます。
- ②「停止」ボタンを押してください。動作表示灯が点滅して、扉が停止します。
- ③「閉」ボタンを1回押して、2秒以内にもう1回押してください。動作表示灯が点滅し、扉が閉じます。

#### 補足

- リモコン送信器の実用到達距離約10メートル以内で操作してください。
- 「開または閉」ボタンを2回押す間隔が2秒を超えると送信しませんので注意してください。
- 安全上「停止」ボタンに限り1回押すだけで送信するようになっています。
- 開／閉動作中に逆方向の開または閉動作するときは、必ず一度「停止」ボタンを押してから次の押ボタンを押してください。

## 16-2 電動柱押ボタンスイッチでの操作方法

※電動柱に付いている押ボタンを押して扉を開閉してください。

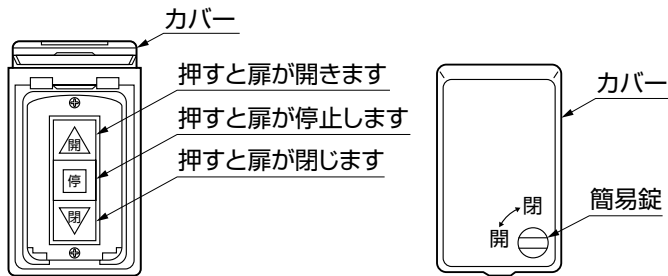


図16-2 電動柱押ボタンスイッチ

- ①簡易錠をコイン等で開位置（溝が水平）まで回してカバーを開けてください。
- ②開ボタンスイッチを押すと扉が開きます。
- ③停ボタンスイッチを押すと扉が停止します。
- ④閉ボタンスイッチを押すと扉が閉じます。
- ⑤カバーを閉め、簡易錠をコイン等で閉位置（溝が垂直）まで回し施錠してください。

### 注意

- イタズラや誤操作による損害を防ぐために、操作時以外はカバーをロックしてください。

## 17. 施工後の点検

### 17-1 引戸本体の確認

- ①すべての部品の取付け後、電動柱下部のクラッチ解除レバーを再度手動にして、引戸本体がスムーズに作動するか確認してください。
- ②次にクラッチ解除レバーを電動にして引戸を作動してください。前ストッパー、後部ストッパーに引戸が当たる直前に駆動モーターが切れるタイミングになるよう、マグネットスイッチを調整し直してください。
- ③調整後、再度電動で引戸を作動させ全開状態、全閉状態でクラッチ解除レバーを手動に切替えてください。スムーズにできれば調整終了です。

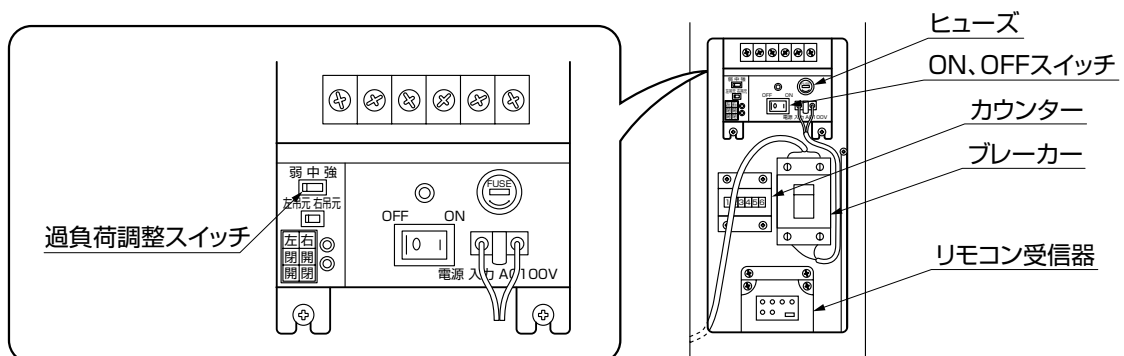
### 17-2 センサー作動の確認

#### (1) 光電センサー

- ①センサー柱内に透過型光電センサーがGLから約64cmの位置に組込まれていて、障害物を検出した場合引戸は停止します。センサーの確認方法として、手などでセンサーを遮光し引戸が確実に停止するかテストを行なってください。停止後、引き続き開閉操作を行なうと引戸は作動します。

#### (2) 回転センサー

- ①回転センサーによる過負荷検出が可能な装置が組込まれています。引戸が閉じる方向に動いている途中で、障害物等にぶつかり停止した場合、約2秒後にスイッチが切れ約15cm後退して停止します。開く方向に動いている途中で停止した場合、約2秒後にスイッチが切れその位置で停止します。停止後、引き続き開閉操作を行なうと引戸は作動します。
- ②過負荷検出は調整が可能です。引戸本体が作動途中で停止し、センサーが作動してしまう場合には、過負荷調整スイッチを「中」または「強」にしてください。



## 17. (つづき)

### 17-3 押えローラーの調整

※手動電動切替スイッチが電動の状態のとき、引戸本体が閉めた状態から手で簡単に動いてしまう場合は、以下の方法でブレーキ力を調整してください。

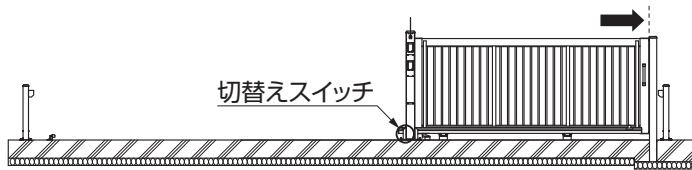


図17-1 片開き

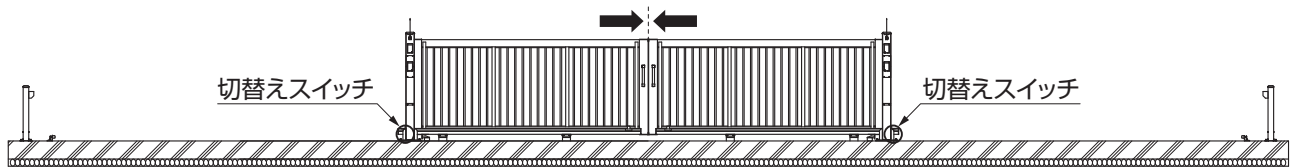


図17-2 両開き

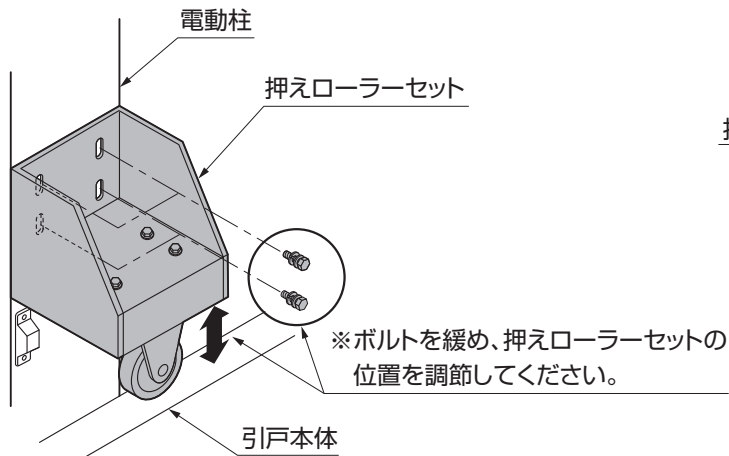


図17-3

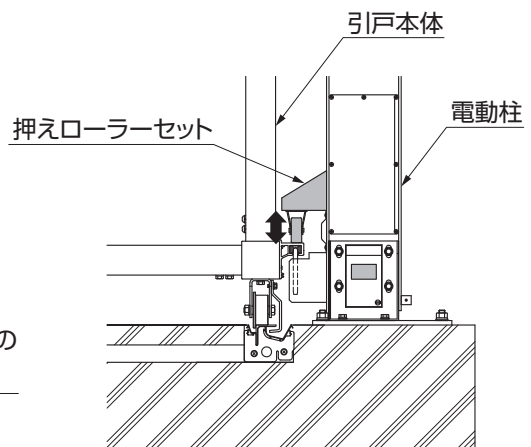


図17-4

- ①引戸を閉めた状態にし、手動電源切替スイッチを手動に切替えてください。(図17-1、図17-2参照)
- ②引戸を閉めた状態で、押えローラーセットのローラーと引戸本体が浮かないよう、押えローラー取付けボルト (M6 × 15六角ボルト) で調節してください。(図17-3参照)

#### ポイント

- 押えローラー取付けボルトで調節したあと一度本体を動かし、本体全体にローラーが押えられているか確認してください。

- ③手動電動切替スイッチを電動に切替え、再度確認ください。